



GUAMweek

【河野 ひまり】

グアムは海底火山によって造られた島。そして、海洋性熱帯気候に属しているため年間平均気温は約27℃、雨季にはスコールが降る。年間通して高温多湿○

1st. Immigration

グアムへ出発し、約三時間半のフライトを経て無事に到着しました。ホストファミリーは温かく迎えてくれ、歓迎会を開いてくださいました。歓迎会では、みんなでご飯を食べながら、桃太郎の紙芝居を披露したり岡山紹介をしたりして交流を深めました。その後、ホストファミリーの家に到着し、翌日の夕食に向けて一緒にビザの牛地を作りました。



↑グアム初景色



ビザ牛地作り→

2nd. BBQ

白い砂浜と青い海のコントラストが綺麗

今日は私の誕生日でした！
日中は海に出かけて、水遊びを楽しんだり、BBQをしたりしました。その後、ホストファミリーの家に戻り、みんなでビザを作り、誕生日をお祝いしてくれました(*^_^*) 夕食の後はトランプを楽しんだり、カラオケ大会をしたりして、忘れられない一日になりました！！



トランプ大会
(国ゲームアリ)

3rd. Shopping

チャモロダンスはグアムに古くから伝わるチャモロ人独自の踊り。古代チャモロ時代の歴史と生活スタイルを表現

ホストファミリーと海外派遣の何人かと一緒にショッピングモールに出かけ、そこでワッペンキーホルダー作りを体験しました。自分だけのオリジナルが作れて、とても楽しかったです。その後は、チャモロダンスのショーを見に行き、迫力満点の踊りに圧倒されました(´Д`) とても貴重なひと時でした！



↑ワッペンキーホルダー



↑チャモロのダンスのショー

4th. Congress

岡山とグアム連州には、正式な「国際友好交流都市・地域」としての関係があり、文化・行政・交流などで繋がりを持っている

グアム知事とお話をし、議会にも訪問をしました。そこでグアムと岡山の長年にわたる友好関係について教えて頂き、国際交流の大切さを改めて実感しました。そしてその後、みんなで一緒に食べたチョコスモアがとても美味しかったです(๑^▽^๑)



↑右から5番目がグアム知事



↑グアム議会



5th. National Wildlife Refuge

グアムの海は生物多様性豊かであるため、ウミガメや熱帯魚、イルカなどが生息

グアムの野生保護地区では、現地の動植物について学び、自然環境を守る大切さを実感しました！また、ホストファミリーと一緒にアボカドサラダを作りました。アボカドのほかにマンゴーやオリーブなど南国らしい風味のバランスのとれたサラダになりました(/・ω・)/



↑アボカドサラダ



↑ツアー



6th. A farewell party

さよならパーティーでは、桃太郎の紙芝居を披露し、「パプリカ」のダンスもみんなで踊りました！ホストファミリーと過ごす時間も残り僅かでもう明日にはお別れだと思わず寂しい気持ちになりました(´；ω；`)



半袖を着て踊った→



↑グアム知事の家



7th. Farewell to the host family

いよいよホストファミリーとお別れの時が近づき、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。夕飯は海外派遣の仲間たちとバーベキューを楽しみ、夜は自分を含めた三人でトランプなどして盛り上がり、結局オールしてしまいました(*´▽`*)



BBQ→



一飯辺で電ごっこ



一代表の挨拶

8th. Departures

いよいよグアムを出発する日が来てしまいました。楽しかった思い出がある分、離れるのがとても寂しいです。またいつか、必ず戻ってきたいと思います！



この研修で思ったこと

私は、グアムで出会った人たちに心から出会えてよかったと思います。ホストファミリーをはじめ、出会ったみんなの心の温かさに感動しました。まるで家族のように接してくれて、深く尊敬の気持ちを抱きました。この経験はきっと自分の人生の中で大きな意味を持つものになると思います。学んだこと、感じたことをこれからの自分にしっかりと活かしていきたいです。そして、必ずまた会いに行きたい。そう心から思える、かけがえのない出会いでした。



本町の家族のように接してくれた

ホストファミリーへお礼

【グアム準州】 【Hafa Adai】

【田中將生】

☆グアム準州到着!!

まずは私が8日間でしたことを紹介。

・1日目

グアムについてからすぐにドン・キホーテに行きました。
(グアムにあるドンキは世界一大きいらしいです。)
その後ホストファミリーと一緒にウェルカムパーティーを楽しみました。岡山からの出し物として「岡山紹介」と「桃太郎」を紙芝居でしました。



・2日目

7月21日は「解放記念日」なのでグアムでは大きな祭りが行われており、そこに行きました。また、グアムと言えば「海」ということでビーチに行き、泳いだりビーチバレーをしたりと自然を楽しみました。また、バレーをしていて「スポーツに国境はない」と改めて感じました。この日は水曜日でナイトマーケットがある予定でしたが雨で開催できなかったため、他のホストファミリーの家に行きみんなと一緒にピザを作りました。



・3日目

3日目は他のホストファミリーのみんなと一緒にモールに行きました。そこでは右の写真のようなキーホルダーを思い出しとして作りました。(ファミリーと自分の名前の頭文字をいれた。) そのあと、グアムの有名な地を巡りました。



・4日目

この日はグアム知事→日本総領事→グアム議会の順番に訪問しました。グアム知事とはチャモロ文化や有名な観光地について話しました。日本総領事ではグアムにおける日本人の重要な役割について詳しく教えてくれました。また、質問などをしてグアムについてより詳しく知ることができました。



・5日目

ホストファミリーのみんなと一緒に黄色いバスに乗ってグアム国立野生保護地区に行きました。そこでグアムにしかない自然や昔の人が暮らしていた洞窟の中に入ってグアムの雄大な自然を体験しました。また、ビーチでゴミ拾いもしました。そのあと、ホームファミリーの誕生日会に行く途中ABCストアに行き100ドル分のお土産を買いました。沢山買った特典でグアムのコップももらいました。



午前中は子ども海外派遣のメンバーと一緒に「Estufao」(エスタファオ)というチャモロ料理を作りました。この料理はとてもシンプルで鶏肉、醤油、酢、ニンニクだけで作りました。午後はグアム知事公邸でサヨナラパーティーをしました。さよならパーティーでは英語でパブリカを歌いながら踊るだけの予定でしたが、桃太郎の紙芝居が好評でもう一度やってほしいという声もあったのでもう一度読み聞かせをしました。2回目の桃太郎は初回は違いリラックスしてきたのでみんな大きな声で読んだり、役を演じたりすることができました。パブリカは2回踊り、1回目は海外派遣のメンバーだけで、2回目はホストファミリーと一緒に楽しく踊りました。最後にホストファミリーからお別れの言葉を聞いた時、別れの寂しさから泣いてしまいました。7日間という短い間でしたが、ファミリーがいつも親切に笑顔で接してくれたので安心して過ごすことができました。

て私が目当てにしていた「多文化理解」を達成することができた上、人と人のかかわりを大切にする心を改めて学ぶことができました。これらの学んだことを今後の自分の成長につなげたいと思います

I ♥ GUAM



・7日目

朝、ホストファミリーと朝ご飯を食べて別れるとき手紙を読んでも感謝を伝えました。別れた後は海外派遣のメンバーと一緒に恋ヶ岬に行きました。恋ヶ岬はとても風が強く飛ばされそうでした。そのあとはみんなでお疲れ会(BBQ)をしました。夜のビーチは海水が浜辺に思ったより迫ってきていて驚きました。



・8日目

朝早くから飛行場に行きました。飛行場にはサプライズでホストファミリーが来ているところがありました。(私のホストファミリーも来てくれました。) この8日間みんな頑張ったので飛行機に乗り込んだ瞬間みんな疲れ切っていました。私のホストファミリーは関西空港へ一度行き、関西空港からアメリカに帰る予定だったので一緒に飛行機に乗り、関西空港で別れました。グアムでは高校から島を出てアメリカ本土へ行く人が多いことを知りました。



☆最後にグアム準州への派遣で学んだこと発見したこと

今回の岡山市子ども海外派遣プロジェクトで日本とは異なる文化や生活習慣に触れ、貴重な学びを得ることができました。例えば、誕生日会には家族以外にもほとんどの親戚が集まり大人数で祝って食事や会話をしむ機会が多く、時間を共有することを大切にしている印象でした。また、自然との関わり方が大きく異なり、海や森を身近に感じながら暮らすことで環境と共生する姿勢を実感しました。ビーチはとてもきれいでゴミを見つけるのにとても苦労しました。人柄についても、ホストファミリーや現地の方はとても温かく、笑顔で接してくれるなど、思いやりの文化に触れることができました。他にもグアムの伝統料理と一緒に作るなどして、食文化に触れることができました。さらに、スポーツや日常生活を通じて国境を越えて心が通じ合えることを体験しました。この派遣を通じ



Echoes of Guam

令和7年度 グアム派遣レポート

Published by
Jumpei Matsumori

令和7年7月20日～27日(8日間)



- 7/20 関空からグアムへ出発、ホストファミリーと顔合わせし、現地で歓迎会
- 7/21 リベレーションデーのパレードを見学
- 7/22 太平洋戦争博物館に行く、誕生日を祝ってもらう
- 7/23 グアム準州知事、日本国総領事を訪問
- 7/24 グアム国立野生動物保護区でトレッキング
- 7/25 知事公邸でさよならパーティー
- 7/26 島内観光(恋人岬等)、グアム・リーフ・ホテル近くでBBQ
- 7/27 帰国



Daily Life 生活

グアムは、まさに南国といったような暮らしで、沖縄とアメリカを混ぜたような雰囲気があったが、日本より涼しく感じた(しかし、湿度は高い)

ミクロネシアの中では間違いなく、最も国際色豊かな観光地であり、人種のるつぼであるアメリカを体現している場所である

暑いので、基本「クロックス・半袖・短パン」の子供が多く、大人も涼しく過ごせる格好の人が多い

グアムには、先住民であるチャモロ人やグアム島出身のアメリカ人の他に、多数のフィリピン人、中国人、日本人、韓国人、ミクロネシア諸島の人々と、少数のベトナム人、インド人、ヨーロッパ人が暮らしており、様々な文化が交じり合う島となっている

このなかで、日系人は1,2位を争うほど多く、日本とグアムとの関わりの深さを感じた

食料品等は、そのほとんどを輸入に頼っており、島の生活を支えるため関税・消費税は免除されている

また、南国という点からか、ゆったりとした時間の中で生活で、「チャモロタイム」(沖縄のうなータイムのようなものと説明を受けた)が存在している

Local Culture 文化



伝統料理である「チャモロ料理」は、スペインにアメリカ、日本、その他東南アジア等、様々な国の影響を受け、その文化を吸収してきた料理である

頻繁に使われるスパイスや食材は、ココナッツ、赤唐辛子、醤油、玉ねぎ、レモン汁、砂糖等で、どの料理にも「甘さ」「辛さ」「酸っぱさ」のいずれかが濃厚に現れているのが、味の特徴である

大家族社会であるグアムの影響で、各料理は大量に作って各自で分ける大皿料理スタイルが主流である

スペインに植民地支配されていたこともあり、その文化が身近に残っている

例えば、挨拶がスペイン語の「アディオス」であったり、スペインの影響を受けた衣服である「メスティーサ」等が生活の中に溶け込んでいる

日本がグアムを占領して、日本語教育を行った時代もあり、ピーチサンダルを「ゾウリ」、葉物野菜を「ナツパ」、ティッシュを「ハナカミ」と言う、といった名残も存在する



Geography and Land 地理

マリアナ諸島およびミクロネシア最大の島で、その南西端に位置し、海底火山によって造られた島である
北部は珊瑚礁に囲まれた石灰質の平坦な台地で、南部は火山の丘陵地帯であり、最高所は、ラムラム山の標高 約1,334ft(406m)である

総面積は、約210平方マイル(約550 km² = 東京23区の約85%)の島にしては、グアムの地形は多様性に富んでいる

北部の石灰岩からなる断崖、都会的な中央部、そして南部の草に覆われた粘土質の赤土の山々等、様々な表情の風景がある

Nature and Environment 自然

特産の花である、「ブーゲンビリア」の他、パパイア・バナナ・ココナッツ・マンゴー・グアバ等も有名である

グアムを代表する「イフの木」は、もともとグアムに原生していたもので、成長は非常に遅いが、堅く重い樹木であり、磨き上げると美しい光沢を放つのが特徴である
地元の彫刻家や工芸家に人気が高く、装飾を施したテーブルや時計、彫像等に加工されている

ジャングルには、外来種のシカや野生のブタがおり、海辺には、「アメリカナグロ」や「キアシシギ」、「メダイドリ」等の鳥たちがいる

希少な美しい「ヘビビタイヒメオオバト」や「グアムミクロネシアカワセミ」、「グアム・レイル」等、絶滅危惧種もいる
島中の住宅地が、野生のニワトリの住処になっており、早朝の「ときの声」は、島民たちの目覚まし時計代わりになっているそうである

また、第二次世界大戦後、まもなく、貨物船経由で持ち込まれた「ミナミオオガシラ(ブラウンツリスネイク)」等の外来種により、元々の生態系への変化を招いてきた



Connection with Okayama

岡山との関わり

1998年に就航した岡山ーグアム便をきっかけに、多くの人たちによる交流が行われ、「2010年8月31日」に、岡山市との友好交流協定が締結され、今回の派遣事業をはじめとした、文化・教育・環境等の分野での交流が、双方で行われている

現在、岡山ーグアム便は、利用者の減少により、2015年2月より運休が続いている状態ではあるが、この便の再開を目指し、2023年頃から、グアム政府観光局がセミナーを開催したり、商業施設での広報活動等を行い、観光客誘致に向けて活動も行っている

History and Heritage 歴史

グアム島に人類が住み始めたのは、紀元前3000年～2000年で、東南アジア系民族チャモロ人がマレーシアやインドネシア、フィリピンから航海カヌーに乗って移住してきたことに始まると思われる(ラッテストーンと呼ばれる、古代チャモロ遺跡の残存より)

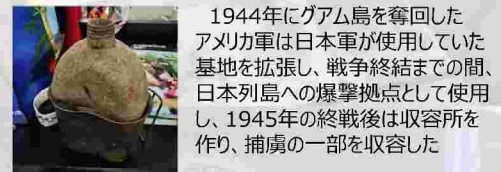
1521年にポルトガルの探検家マゼランがヨーロッパ人として初めてグアム島に到着し、1565年にスペイン人のレガスピによる来島で、スペインが領有を宣言し、植民地化されたとも言われている

フィリピンのマニラとメキシコのアカプルコを結ぶ航路が1568年に開かれ、スペインの大型船・ガレオン船が太平洋を行き来するようになり、毎年6月にロタやグアム周辺に現れ、チャモロと物々交換を行っていた

1898年には、アメリカとスペインの間で勃発した米西戦争に、アメリカが勝利したことで、同年のパリ条約によりグアム島はフィリピン、フェルトリコとともにアメリカに割譲され、植民地支配下におかれることとなった
アメリカはスペイン同様に現地文化や風習を無視し、グアムのアメリカ化を進めていった



1941年12月8日、太平洋戦争が勃発、大日本帝国海軍は真珠湾攻撃の5時間後(日本時間 午前8時30分)に、グアムへの航空攻撃を開始し、2日後に陸軍南海支隊をはじめとする日本軍がアメリカ軍を放逐し、島名を「大宮島」と改名して、大日本帝国領土に組み込んだ(アメリカ軍が1944年に再占領するまでの2年7か月間)



1944年にグアム島を奪回したアメリカ軍は日本軍が使用していた基地を拡張し、戦争終結までの間、日本列島への爆撃拠点として使用し、1945年の終戦後は収容所を作り、捕虜の一部を収容した

1950年に、アメリカ合衆国議会による「グアム自治基本法」によって、グアムは主権を制限されており、アメリカ連邦法上は、「アメリカ合衆国自治的・未編入領域」となっている

終戦後も、現在に至るまでアメリカ軍の太平洋戦略上の重要な基地の一つとして、グアムは利用され、「太平洋のスーパーマーケット」と呼ばれたベトナム戦争の際も、北爆に向かう、B-52 戦闘機の拠点として利用されており、アメリカ軍がグアム経済に与える影響も大きいのも事実である



【初経験ばかりのグアム体験記】

【内田 佳穂】

グアムでの家族、ホストファミリー

親がいない状況での海外が初で、ドキドキの連続でした。ホストファミリーには感謝しかありません。私のホストファミリーはグアムの首都のハガニヤに住んでいます。初めて家に到着した時は、私の家と比べものにならないくらい綺麗で大きく、驚きの連続でした。

家族の皆、とても優しく、さらに面白いので、一瞬で家族になれた気分になりました！

ペットもとても可愛かったです！すぐに懐いてくれたので、家族として認めてもらえた気分でした。



第2(グアム)の家族

透明さに感動したグアムの海

ホストファミリー達みんな、海に遊びに行きました。初めてグアムの海を見た時、日本で今まで見てきた海と異なり、驚くほど透明で、青とエメラルドグリーンのグラデーションがとても綺麗で感動の連続でした。砂はとても白くてサラサラした感触で、貝殻も色とりどりの色があって、持ち帰りたくなるほどでした。砂浜には、スナガニという人差し指サイズのガニがいました。とても素早く動き回るガニで、捕まえるのが難しかったのがまた楽しかったです。

夕方になると、海の色がオレンジ色に染まっていました。夕陽が写る光景は、言葉に出来ない程綺麗でした。絶対に再度行きたいと強く感じました！



一言では表現できない素敵な海

1秒1秒が楽しかった皆での料理

ホストファミリーの親戚の家で色々な料理を作りました。ピザはみんなで生地を伸ばして、好きなトッピングを乗せて焼いてもらいました。生地を伸ばしていた時、真ん中が破れたり、平らにできなかったりしてとても難しかったです。トッピングのチーズをたくさん乗せて焼いてもらえたのは内緒です。

その後、カップケーキとスモアを作りました。カップケーキを作るのは簡単でしたが、スモアを作るのはちょっと難しかったです。難しいポイントは、時間との戦いの点です。チョコとマシュマロをクラッカーで挟むのですが、チョコを均等に分けている時にちょっとずつ溶けてしまっ、マシュマロが少し焦げたり、1秒の難しさを体感しました。



楽しかったが難しかった料理体験

すごい迫力のダンスショー

ホストファミリー達とダンスショーも見ることができました。テレビやアニメで見ていた物を実際に見られて、この上ない喜びでした。海が見渡せられる広い席で見られたことも、大きかったと思います。

ショーには色々なダンスがありました。フラダンスに似たダンスや、火を使ったダンスがありました。火がついた棒を振り回して踊ったり、口の中に火を入れたりしていて、とても迫力がありました。他にも剣を使ったダンスや、太鼓を使ったダンスがありました。観客がステージに呼ばれて、一緒に踊るのも楽しかったです。

グアムの文化が感じられる、素敵なショーでした。



グアムのダンスショー

マイクロネシアモールを探索

ホストシスターのウィローと他のみんなでマイクロネシアモールに行きました。どことなく岡山のイオンモールと似ていて、親近感がわきました。みんなでお土産や色々なお店を見た後、ワッペンハウスという時自分だけのワッペンキーホルダーが作れるお店に行きました。グアム限定のものがいくつもあり、作成に色々迷いました。迷う時間がまた楽しかったです。

その後みんなでハンバーガーを食べに行きました。私は普通サイズを頼んだのですが、両方とも量が多くてびっくりしました。さすがアメリカだなと思いました。予想通り、食べ終わった後、お腹が破裂しそうでした。コンディションを整えて、リベンジしたいなと思います。ぜひ再度行きたいなと思いました。



多すぎて迷いに迷ったワッペンハウス

もう1度食べたいグアムの郷土料理

グアム料理をたくさん食べて感動の連続でした。

その一部を紹介したいと思います。

パーベキュー・リブ…肋骨部分の肉を骨つきのまま焼く豪快な料理です。ドライビーフと同じで醤油ベースのタレに漬け込んだ肉を焼くものと、砂糖を加えた甘い味もあります。この料理が一番美味しかったです！

ルンピア…クレープのような皮にレブン、卵、鶏肉等が包まれて、揚げた料理。春巻きに似ています。レッドライス…ベニノキの実と一緒に炊いたライスです。ドライビーフ…ニンニクやタマネギ、チリを入れた醤油ベースのタレに漬け込み、軽く乾かしてから火を入れた柔らかいタイプの肉。

チャモロ・ビスティク…薄切りにした牛肉を玉ねぎやパプリカなどの野菜と一緒に煮込んだビーフシチューです。

カダウン・マノック…鶏肉と野菜がたくさん入ったあつさりしたスープです。スープの中にご飯を入れて食べるやり方も。



もう一度食べたいパーベキュー・リブ

グアムでの生活記録

滞在期間：2025年7月10日～10日

岡山大学附属中学校 3年生
竹内蒼一郎



ホストファミリーとの生活

ウェルカムパーティーで初めてホストファミリーに出会ったときはとても緊張しましたが、笑顔で親しく接してくれたおかげですぐ仲良くなりました。ホストファミリーの方達とは一緒にドライブをして海を泳いだり、料理をしたりとても楽しい時間を過ごせました。特に楽しかったのは、ホストファミリーと一緒にショッピングをしたことです。

また、一緒に観光をしているときだけではなく、ファミリーや友達と何気ない会話を交わしていたときもとても楽しかったです。

日本と違うアメリカの文化

日本で暮らしてはいるが気づかないような文化の違いを身を持って知ることができ、興味深いと思う他、私達の当たり前について考えさせられました。

- ・お風呂には入らず毎日シャワーで体を清潔に保つ
- ・レジを運ぶ前に商品を食べても大丈夫
- ・車の免許を16歳で取ることができる
- ・生まれてくる子供の性別発表は親族の一大イベント

グアムの気候

グアムは南国のイメージもありますが日本より気温は少し低く、岡山よりも暑くありませんでした。しかし日差しは痛いくらい強く、注意が必要でした。



ホストファミリーと服やお土産を買ったマイクロネシアモール。グアム最大のショッピングモールです。

ホストファミリーと囲んだ食卓

味付けチキン

醤油や酢、玉ねぎで作った汁をかけた白ご飯とその汁に漬け込んだ骨付きチキンを一緒に食べる料理。肉がホロホロしていてとても美味しい。ご飯との食べ合わせも最高。



レッドライス

一見ケチャップライスのように見えますがそうではありません。チャーハンのようにパラパラしたご飯にまるやかな塩味のついたチャモロのご飯で、アチョーテの実を使っているそうです。祝い事やBBQのときによく食べられるそうです。



グアムの魅力スポット探訪

ビーチ

白い砂浜、果てしなく続く青い海、広がる水色の空。すべてが美しく、心を揺さぶられました。ここでは嫌なことを全部忘れてしまいます。ヤシの木ターザンモスリル満点で海は浅瀬が続いていて楽しく遊べます。しかし、



石やサンゴ礁が多くあり、ぶつかってケガをしてしまったので、要注意です。



ビーチのあとに見た花火も壮大で綺麗でした。→

イナラハン天然プール

その名の通り、自然によって作られた天然のプールです。大人でも足つかないほど深く、水は海水で、小さいけれど魚も見られました。飛び込台は大人にも子供にも大人気です。



スペイン広場

かつてのスペイン総督部があった場所で、グアムのスペイン統治時代を代表する遺跡です。厚い白壁とイフイル木の梁でできていて、現在は復元されたものだそうです。当時の暮らしを想像しながら敷地を回るのが楽しいのでおすすめです。



グアム国立野生動物保護区内の遺跡

生い茂った森の中に入り生物を観察することができます。私は化石と化した善き貝や生きたカタツムリを観察することができました。保護区内には遺跡もあり、洞窟の中に残る手形やすり鉢のあとを見ることができます。



石灰岩の禍々しく高い崖。→



グアムでの生活まとめ

自分にとって初めての海外だったので最初は言葉や仲良くなれるかどうか不安でしたがすぐ仲良くなれて、とても安心しました。最初は向こうからアプローチしてくれるだけでしたが、自分からも積極的にコミュニケーションをすることでより親しくなれた気がします。こうして国境の壁を超えて仲良くなっていくことで、世界平和の実現につながっていくのかな、とも思いました。グアムは自然によってつくられた多種多様な地形と人々が積み重ねてきた長い歴史があって、フレンドリーな人がたくさんいて、とても楽しく、貴重な経験ができました。私は海外での活動を通し、臆さず人とコミュニケーションを取っていくことの大切さを知りました。これからもグアムで学んだことを胸に、新しいことに挑戦していきたいです。

グアムタイムス

Guam Newspaper

2025/7/20~27

発行 山高 想太

約15年前、岡山市と友好交流都市の関係となった
グアム準州の魅力をまとめました。

グアム解放記念日

LIBERATION DAY

毎年7月21日、ハガニア中心部で大規模なパレードが行われます。解放記念日は、日本の占領下にあったグアムが再びアメリカ統治下に戻ったことを記念し、また、平和を願う日です。パレードは、様々な団体が山車で
行進していて、華やかな雰囲気を楽しめます。沿道も屋台や持ち寄りパーティーで賑わっていて、夜は花火があります。

→パレードの山車の一部



グアムの食べ物

豆知識: 車社会のグアムには、自転車がありません!

FOOD

アメリカ合衆国の一部であるグアムの飲食物はとにかく量が
多く、味が濃いという特徴があります。グアムの先住民チャモロ族が作ってきた料理に他国の文化が加わったチャモロ料理が有名です。BBQ(特にスペアリブ)が人気で、また、大皿から各自が取り分ける文化があります。様々なチャモロ料理から2つ紹介します。



レッドライス

- アチョーテの実で色付けされた炊き込みご飯
- 日本の「赤飯」のような位置付け(お祝いの時など)
- 味付けはシンプル

カドンピカ

- 辛い鶏肉のシチュー
- 醤油、酢、タマネギ、唐辛子、ココナツミルクなどで煮込んでいる
- 家庭料理



グアムの気候・自然

CLIMATE & NATURE

グアムは赤道に近く、常夏の島です。また、年間降水量は岡山市の約2倍で、

雨季(6~10月)のスコールが特徴的です。急に降ったり止んだりするので、正直天気予報は当てになりません。そして、青い海や自然保護区など、自然豊かな場所です。



イ恋入岬展望台



グアムの歴史

HISTORY

第9代・ルルド・アフラゲ・シオン・ゲロ知事の表敬訪問で官邸に行った時、外には初代知事の記念碑や大砲のような跡がありました。先住民チャモロ族から始まり、戦争で様々な国の領地となった後、第二次世界大戦でアメリカの自治領となった(解放記念日)のです。



ココナツキャンディの作り方

COCONUT CANDY

一緒に

甘く、ココナツ感満載!

ホストマザーに教えてもらい、作ったココナツキャンディを紹介します。

材料

- ココナツ...2つ
- 砂糖...150g

すりおろし器 →

手順1

ココナツの殻を割り、果肉をすりおろします。



手順2

砂糖が茶色になるまでフライパンで煮めます。



手順3

すりおろした果肉と和えます。(お好みでバニラエッセンスなど) 盛り付けて完成です。



感想

初めての海外だったが、最高だった。行かなければ分からない文化などもたくさんあり、ホストファミリーと楽しく接することができた。忘れられない思い出の8日間だった。



<グアム解放記念日>7月21日 81st Liberation Day

滞在中、パレードや花火が行われました。元軍人のホストファザー、Jeffさんに「ARMY」を着せてもらいました。
グアムと日本の歴史について考え、歴史と未来がつながる行事でした。



緑に覆われた熱帯の植物
第二次世界大戦中、日本兵が隠れていた洞窟もあるところ。



Special I ♥ GUAM

特集

安原 太智



<恋人岬伝説の地> Two Lovers Point

絶景ポイント。身分の違う恋人が永遠の愛を誓い、身を投じたという悲恋伝説があるそうです。



ホストファザーJeffさんが運転してくれたバス
アメリカンサイズ！！一緒に行ったメンバーと各ホストファミリーを乗せてくださいました。



グアムの伝統的なTalaya「タラザ」と呼ばれる投網漁、ネットフィッシングをしました。庭で投げる練習していざ出陣！！
Talayaは丈夫で水に強くビーチバッグ、エコバッグとしても使われています。



スペイン統治時代の ハガニア大聖堂



ホストファザーJeffさんの釣りチーム名JERNIE（ホストシスターの名前）のキャップをもらいました。



ホストファミリー

グアム子ども海外派遣で経験したことは、ここには書ききれないくらいたくさんあります。何でも楽しむ、吸収してくるつもりで行って来ました。優しくしてくれたホストファミリー、グアム知事や領事のところにも行かせていただいた学びを生かして、英語力も磨いてもっと人のために役立っていきたいと思いました。



美しい海
泳いだり、ビーチクリーン活動をしました。雨季の急なスコールとその後のカラッとしたブルーの空も忘れられません。



お礼にあげたわっぱ弁当箱
わたしが毎日言った日本語「Itadakimasu」「Gochisousama」
改めて生かし生かされていることを考えさせられたとおっしゃっていました。